



Cisco Mobility Express の内部 DHCP サーバの使用

リリース 8.3.102.0 から、内部 DHCP サーバを有効にし、アクセス ポイントおよび WLAN のスコープを作成できます。合計 17 個の DHCP スコープは、Cisco Mobility Express でサポートされます。内部 DHCP サーバを使用すると、Cisco Mobility Express を有効にして、外部 DHCP サーバを使わずにサイト サーベイの実行に使用することもできます。

- [DHCP スコープの作成, 1 ページ](#)

DHCP スコープの作成

内部 DHCP サーバを有効にし、Day 0 のセットアップ ウィザードおよび Day 1 のコントローラ WebUI を使って DHCP スコープを作成することができます。通常、WLAN にスコープを関連付ける場合、Day 1 の DHCP スコープを作成します。

コントローラ WebUI を使用して、スコープを作成し、WLAN コントローラに関連付けるには、以下の手順に従います。

手順

- ステップ 1** [Wireless Settings] > [DHCP Server] > [Add new Pool] に移動します。[Add DHCP Pool] ウィンドウがポップアップ表示されます。
- ステップ 2** [Add DHCP Pool] ウィンドウで、次のフィールドに入力します。
- WLAN のプール名を入力します
 - プールのステータスを入力します
 - WLAN の VLAN ID を入力します
 - DHCP クライアントのリース期間を入力します。デフォルトは 1 Day です
 - ネットワーク/マスクを入力します

- DHCP プールの**開始 IP** を入力します
- DHCP プールの**終了 IP** を入力します
- DHCP プールの**ゲートウェイ IP** を入力します
- DHCP プールの**ドメイン名**（オプション）を入力します
- **ネームサーバ**の場合、必要に応じて [User Defined] を選択し、ネームサーバの IP アドレスを入力します。OpenDNS ネームサーバの IP アドレスが自動的に入力されている場合は OpenDNS を選択します。

ステップ 3 [Apply] をクリックします。

ステップ 4 スコープを作成した後、DHCP スコープにマップされている VLAN を WLAN に割り当てます。WLAN に VLAN を割り当てるには、[Wireless Settings] > [WLANs] に移動します。

ステップ 5 WLAN が存在しない場合は WLAN を作成し、存在する場合は既存の WLAN を編集して、[VLAN and Firewall] タブをクリックします。

ステップ 6 [VLAN and Firewall] タブで、以下を設定します。

- [Use VLAN Tagging] で [Yes] を選択します。
- **ネイティブ VLAN ID** を入力します。
- WLAN に以前に作成した **DHCP スコープ**を選択します。**VLAN ID** は、DHCP スコープを選択した後に自動的に入力されます。

Add new WLAN

General WLAN Security **VLAN & Firewall** Traffic Shaping Advanced

Use VLAN Tagging Yes ▼

Native VLAN ID 122 ▼

DHCP Scope WiFi-Guest ▼ **VLAN ID *** 20 ▼

Enable Firewall No ▼

VLAN and Firewall configuration apply to all WLANs → **Apply** **Cancel**

ステップ 7 [Apply] をクリックします。

